２０．佐渡路（さどじ）―三国街道（みくにかいどう）

選定箇所：永井～三国峠（群馬県みなかみ町～新潟県湯沢町）、二居峠越（湯沢町）、栃原峠越（魚沼市・南魚沼市）※１、とび坂峠（長岡市）

概要：戦国時代に関東管領上杉家の名跡を継いだ謙信が、関東地方を実効支配するために越後国、上野国、信濃国に跨る三国峠を開削して街道を整備したのが始まりとされる。江戸時代には、長岡藩等の参勤交代の経路や、幕府の佐渡金銀山の開発に伴い佐渡と江戸を結ぶ街道として利用された。三国街道はとび坂を経て信濃川・魚野川の水運と結び機能していたが、寛永年間に栃原峠が開削され、魚野川を渡る必要がない最短の街道として整備された。

※１【魚沼市】熊出没のため入山が規制される場合あり。
【南魚沼市】冬期は途中の道が閉鎖される場合あり。

佐渡路―三国街道（二居峠越）（湯沢町）

佐渡路―三国街道（とび坂）（長岡市）